

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公開番号】特開2001-289808(P2001-289808A)

【公開日】平成13年10月19日(2001.10.19)

【出願番号】特願2000-109027(P2000-109027)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/12 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N	27/12	B
G 0 1 N	27/12	C

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

一般に、感知膜に半導体薄膜を用いた場合、感知膜単体では複数の還元性ガスに感応してしまい、或る特定のガスだけに選択的に感応することができない。そこで、感知膜の上にフィルタ層を設け、検知ガスより酸化活性の強いガスを燃焼させることが有効である。また、感知膜単体では水蒸気などの妨害物質共存下で感度が低下すると言う問題があり、これに対してもフィルタ層を設けることが有効である。ただし、フィルタ層に対してヒーターが小さい場合、フィルタ層が十分に加熱されずに温度分布が生じるため、所定の性能を発揮できないという問題が指摘されている。